# ご参加いただいたみなさま (五十音順・敬称略)

阿部重憲 池上武 岩渕正子 岩渕善弘 遠州尋美 及川薫 大木れい子 小川静治 小沢 瓦 小野吉信 片山知史 金田 基 鎌内秀穂 萱場猛夫 菊地 修 北村尚十 草野清信 熊谷ナナ子 小池太二 小山富男 嵯峨サダ子 櫻井 竹虎

佐藤孝三

佐藤 仁 鴫原敦子 嶋田一郎 庄司あかり 庄司慈明 菅田重利 壽原克周 千葉昭彦 寺島四郎 長澤清光 中嶋信 中嶋廉 芳賀芳昭 長谷川公一 福島かずえ 藤科智海 宮崎 勇 宫野賢一 横田有史

(ご家族) 綱島悦子 綱島雄太郎





ご挨拶

夫は、新しいものに飛びつくことは決してせず、古き良きものを大切にする人でした。そして常に最高のものを求め続けていました。ユーモアに溢れ、時々おかしなギャグも好んで使っていましたが、私にとっては最高でした。夫と笑い合った日々を今も思い出します。

研究においても昔からのやり方で、少々時代遅れなところもあったかもしれません。けれども人が躊躇することでも率先して行い、常に中心に立つ夫からは、ゆるぎない気概が感じられたものです。

大学を退いて一年後に東日本大震災に遭遇しました。復興を祈る気持を人一倍抱いた夫は、皆様と手を携え、10年もの間全力でたたかい続けました。次に大地震がきた時には、いかなる備えをすればよいのか、と研究に専念し、論文を書くために、あらゆる資料を集め、精力的に動いていました。

しかし、病に倒れてしまい、どれだけ無念だったか。私は、夫の気持を考えるとやるせなさで一杯です。

子供たちにはきびしかったものの、今となってはそれも家族の大切な思い出です。自分の意志を貫き人生を歩んできた夫は、私たち家族の誇りです。

センターの皆様はじめ、沢山の方々と、東日本大震災の復旧・復興 に力を注ぐことができたことは、夫の人生の中でも最高に幸せな時間 だったのではないかと思っております。本当にありがとうございました。

綱島悦子

## 綱島不二雄先生のご足跡

1939年 3月30日 生まれ

1964年 3月 東北大学農学部卒業

1967年 3月 東北大学農学研究科修士課程修了 東北大学在学中はセツルメント運動で活躍

1967年 4月 聖ウルスラ学院高等学校教諭

1970年 7月 東北大学農学研究所に教務職として勤務 農学研究所附属実験農場に勤務

1984年 6月 東北大学農学研究所助手として勤務

東北大学在職中は2期2年間東北大学職員組合委員長を務める

1986年 5月 山形大学農学部付属農場に助教授として勤務

1987年 4月 山形大学農学部付属農場長に併任

1991年 5月 山形大学農学部教授として勤務

(学科改組により生物環境学科の教授となる)

2003年 9月 山形大学農学部を辞職

2003年11月 鶴岡市長選挙に立候補(無所属・市民派)

(18,470 票 33.5%)

2004年 4月 札幌大学経済学部教授として勤務

(地域環境科学を研究教育)

2010年 3月 札幌大学退職に伴い仙台へ

### 【退職後の活動業績】

2011年 5月 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター設立に参加 同センター代表世話人

2013年 5月 日本科学者会議 地震・津波災害復興研究委員会 委員長

2015年 3月 第3回国連防災世界会議・パブリックフォーラム

「震災の経験を学び防災復興のあり方を考える」シンポジューム責任者

2018年12月 みやぎ震災復興研究センター設立 同センター代表

2019年 2月 企画・編集を牽引された『日本大震災 100 の教訓 地震・津波編』(クリエイツかもがわ) 刊行

\*卒業論文 工業用地提供農家に関する研究

\*修士学位論文 新産都市建設と農地問題

\*博士学位論文 複合経営の展開条件に関する研究



東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県 民センター(みやぎ県民センター)設 立総会 2011年5月29日





みやぎ県民センター第2回総会 2012年6月24日



みやぎ県民センター第3回総会 2013年6月9日



みやぎ県民センター6周年総会 2017年6月24日



2011年8月2日県民集会



県民版復興会議 2011年9月9日





▲ 2017年5月10日 国会要請

◀ 2015 年 6 月 26 日 国会要請・路上集会





▲ 保団連事務局学習会 2012 年 8 月 21 日

◀ 日本科学者会議 50 周年記念行事 大震災の経験を学び防災復興のあり方を 考えるシンポジウム 2015 年 3 月 16 日

2011 年 6 月 30 日 石巻・気仙沼地区漁業 集落調査(みやぎ県民 センター)







